

第181号

令和4年3月18日

# 一般社団法人 大阪市学校歯科医会報



In India (インド) 新世紀美術協会会員・日本美術家連盟会員 西川 肇

## 目 次

会長挨拶	3
公益社団法人日本学校歯科医会 第103回 臨時代議員会	4
第45回 近畿北陸地区学校歯科医会(学校歯科部)連絡協議会	5
公益社団法人日本学校歯科医会 第104回 臨時代議員会	8
第85回 全国学校歯科保健研究大会	9
令和3年度 第2回 支部長会	11
第71回 全国学校歯科医協議会	12
令和3年度 全国学校保健・安全研究大会	14
令和3年度「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」「歯・口の健康啓発標語コンクール」	16
令和3年度「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」「歯・口の健康啓発標語コンクール」表彰式	20
令和3年度 マウスガード講習会	22
令和3年度 大阪市学校歯科医会 会員研修会	24
令和3年度 大阪二学歯連絡協議会	26
大阪市学校歯科医会における学校歯科保健事業の指針について	27
令和3年度 慶びに輝く先生方	30
渚 紀代司先生(淀川区支部)を偲んで	31
会務報告・子どもの歯を守る懇談会 日程	33
学校歯科保健教材器具貸出 申込書	34
お知らせコーナー／市学歯ホームページ更新情報／編集後記	

表紙の題字 渚 紀代司 元副会長

# 会長挨拶



一般社団法人大阪市学校歯科医会 会長 西本 達哉

市学歯会報181号発刊にあたり一言ご挨拶申し上げます。平素は会務運営にご協力賜り、厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症は、昨年末は小康状態となり、大阪大学歯学部のだ野敦雄教授による会員研修会も府歯大ホールにてリアルに開催することができ、ホッとしたのも束の間、新年になり急速に感染者が増えてきました。残念ながら恒例の大阪市学校歯科保健研究大会もやむを得ず2年続けて中止とさせていただきました。

前号で新しい執行部が発足したことを紹介させていただきましたが、新しく就任した役員がそれぞれの立場で力を遺憾なく発揮して下さっています。コロナ禍ですのでリアルに理事会や部会を開催するのは難しい事もあり、取り組み出したオンライン会議も当初は雑音が入ったり、なかなか上手く行かないこともありましたが、現在では資料をPDFファイルなどで送り、全役員がペーパーレスで会議や部会を開催するのが当たり前となっています。

今年度の新しい取り組みとして、図画・ポスター並びに標語コンクールの表彰式を初めて開催しました。この会報にも当日の様子を載せていますので、ぜひご覧になって下さい。読売新聞大阪本社のホール「ギャラリーよみうり」で開催しました。今回は各社から協賛をいただきこれまでにない新しい賞も作りました。西区にある中央図書館では素晴らしい作品を展示できましたが、いったいどんな児童生徒が作ってくれているのだろうと常々思っていました。今回初めて保護者と一緒に来ていただきお顔を見ることができました。

標語では茨田中学校の3年生がつけられた「いただきます 人生100年 歯と共に」が全国一位の最優秀賞に選出され、令和4年度歯と口の健康週間のポスターにも使われます。図画・ポスターでは工芸高等学校の3年生の作品が優秀賞に選ばれました。

図画・ポスター、標語コンクールに協賛していただいた各社には、応募した子どもたちへの歯ブラシなどや表彰式での副賞の提供、コンクール募集の際と選考会で選ばれた優秀作品を掲載したA2ポスター2種、そして何より昨年度に引き続きカレンダーも作成していただき、心より感謝申し上げます。

市学歯のホームページですが、前・岡本会長時代に創立80周年の際に立ち上げました。今回弘田広報部長を中心としてホームページ委員会を作り、見直しを行っています。2月にはアンケートを実施させていただきましたので、その結果も含めて更に使いやすいものを目指します。

健康リテラシーという言葉があります。「健康に関する情報を主体的に入手し、それらを正しく理解して、健康課題の解決に活用する能力」を言いますが、学習指導要領にもしっかり書かれています。残念ながら日本では健康リテラシーが低く、子どもたちにしっかり伝えるために学校歯科医を含めた医療関係者と教育者の連携が不可欠となります。コロナ禍であっても子どもたちに自分の健康を守るために伝えるべき情報を色々な形で発信していきたいと思います。

# ■ 公益社団法人日本学校歯科医会 第103回 臨時代議員会 ■

開催日時 令和3年6月23日(水)午後1時30分～

開催場所 日本歯科医師会館1階 大ホール

出席者 西本達哉・藤野康徳

- |                                    |                        |
|------------------------------------|------------------------|
| 1. 開会の辞                            | 副会長 齋藤 秀子              |
| 2. 議事録署名人指名                        | 宮城県 駒形 守俊<br>兵庫県 中田 久弘 |
| 3. 黙 禱                             |                        |
| 4. 挨拶                              | 会長 川本 強                |
| 5. 来賓挨拶                            | 日本歯科医師連盟会長 高橋 英登       |
| 6. 議事運営特別委員会報告                     | 委員長 山田 尚               |
| 7. 選挙管理委員会(会長予備選挙報告)               | 委員長 富田 康則              |
| 8. 各種報告                            |                        |
| 1) 会務報告                            | 常務理事 澤田 章司             |
| 2) 会計報告                            | 常務理事 阿部 直樹             |
| 3) 各委員会報告                          | 各担当常務理事                |
| 4) 監査報告                            | 監事 吉田 慶造               |
| 9. 事業報告                            |                        |
| 令和2年度 事業報告                         |                        |
| 10. 予算決算特別委員会報告                    | 委員長 石川 文一              |
| 11. 議 事                            |                        |
| 第1号議案 令和2年度貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書) |                        |
| 第2号議案 役員選任                         |                        |
| 12. その他                            |                        |
| 13. 閉会の辞                           | 副会長 柘植 紳平              |

## 市学歯からの事前質問(書面)

題目 緊急事態宣言発出時の歯科健康診断とワクチン接種との関係について

代議員 藤野 康徳

要旨 緊急事態宣言が発出された令和3年4月25日以降に学校園において、歯科健康診断を行うにあたり、会員の中にはワクチン接種を2回受けてから行うことを望まれた。これについて日本学校歯科医会の見解を教えてください。

回答 学校保健安全法に基づく児童生徒等の健康診断の実施等に係る対応については、最新の学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル(2021.4.28Ver.6)～「学校の新しい生活様式」を導入することとした。また日本学校歯科医会では、文科省の見解を受けて「歯と口の健康診断は重要な学校行事と位置付けられており、学校歯科医は地域の感染状況を踏まえ、学校長や学校関係者と連携して可及的すみやかに健康診断を実施することが望ましい。」と考えている。

# — 第45回 近畿北陸地区学校歯科医会(学校歯科部)連絡協議会 —

令和3年度の近畿北陸地区学校歯科医会連絡協議会は、福井県歯科医師会の主催で開催されましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、対面での開催は中止となり書面開催になりました。

日 時 令和3年8月28日(土)

形 式 書面開催

来 賓 日本学校歯科医会

会長 川 本 強

出席団体名 奈良県歯科医師会 兵庫県歯科医師会 富山県歯科医師会 滋賀県歯科医師会

京都府歯科医師会 石川県歯科医師会 和歌山県歯科医師会

大阪府学校歯科医会 大阪市学校歯科医会 福井県歯科医師会

## 報 告

- (1) 日本学校歯科医会報告
- (2) その他

## 協 議

- |                                      |             |
|--------------------------------------|-------------|
| (1) 新型コロナウイルス禍における学校歯科健康診断           | 【兵庫県歯科医師会】  |
| (2) マスク着用の常態化による口腔環境の悪化について          | 【京都府歯科医師会】  |
| (3) コロナ禍の児童・生徒への影響について               | 【石川県歯科医師会】  |
| (4) 口腔機能発達不全症に対する学校歯科医会の<br>取り組みについて | 【大阪府学校歯科医会】 |
| (5) 学校における昼食後の歯みがきについて               | 【大阪府学校歯科医会】 |
| (6) 児童の口腔環境変化について                    | 【大阪市学校歯科医会】 |
| (7) 校医報酬について                         | 【大阪市学校歯科医会】 |

## 情報交換

- |   |             |
|---|-------------|
| (1) 基礎研修・更新研修について                             | 【奈良県歯科医師会】  |
| (2) 学校健診について                                  | 【奈良県歯科医師会】  |
| (3) 歯科医療機関向け 児童虐待防止マニュアルの改訂について               | 【兵庫県歯科医師会】  |
| (4) 校医報酬について                                  | 【兵庫県歯科医師会】  |
| (5) コロナ禍における学校での歯みがきや学校での<br>ブラッシング指導について     | 【滋賀県歯科医師会】  |
| (6) マスクの中の口腔環境の変化について                         | 【滋賀県歯科医師会】  |
| (7) 本学校歯科医が任期内に病気など継続が困難になった場合の<br>対応について     | 【滋賀県歯科医師会】  |
| (8) 健診後の受診率                                   | 【石川県歯科医師会】  |
| (9) 健康診断時の保健調査票について                           | 【石川県歯科医師会】  |
| (10) 学校管理下における口腔外傷に対する学校と<br>かかりつけ歯科医との連携について | 【大阪府学校歯科医会】 |
| (11) 学校歯科医の食育の推進について                          | 【大阪府学校歯科医会】 |
| (12) 新型コロナウイルス感染対策の現状調査について                   | 【大阪市学校歯科医会】 |
| (13) 新任学校歯科医研修会のオンライン開催について                   | 【大阪市学校歯科医会】 |
| (14) 第84回全国学校歯科保健研究大会について                     | 【福井県歯科医師会】  |

## 大阪市学校歯科医会からの協議題についての各団体からの回答（抜粋）

**【題目】** 児童の口腔環境変化について

**【要旨】** 新型コロナウイルス感染防止の生活において児童の口腔内環境悪化の意見が会員から多く寄せられた。例年行われていた健康教育の中止、フッ化物洗口の中止、給食後の歯みがきの減少などいろいろな理由が考えられる。他地域における児童の状況、それに対する対応を教えていただきたい。

**【回答】** **日本学校歯科医会：**新型コロナウイルス感染症による児童生徒の口腔環境の変化については、家庭環境も含め考えることが重要である。委員会を立ち上げ、小児歯科学会等と協力の下、調査研究を行う予定である。

**滋賀県歯科医師会：**マスク着用の日常化に伴う口呼吸及び口腔乾燥による口腔内の環境の変化を問題視している。またマスク着用により養護教諭が児童生徒の口もとを確認できない、口臭の有無を確認できない等の意見が養護教諭から寄せられていることに危機感を感じるに至り、養護教諭を対象とした地域歯科保健研修会を開催し、口呼吸を演題に講演を行った。そしてその後、現場の養護教諭と少人数でのディスカッションを行うなどをして、養護教諭の不安を払拭するなどの対策をしてきたが、蔓延防止措置、コロナ禍の感染状況の悪化により、研修会を余儀なく中止せざるを得ず、対策に苦慮している。

**京都府歯科医師会：**学校歯科健診における新型コロナウイルス感染症による影響について、コロナ禍の影響でマナーとしてのマスク着用の常態化により、口呼吸、口腔内乾燥などによる子どもたちの口腔環境の悪化、う蝕や歯肉炎の増加を実感した。京都府歯科医師会学校歯科部会として、鼻呼吸を促すという観点から「あいうべ体操」の啓発図書を、京都府内の小学校・中学校に贈呈した。

**和歌山県歯科医師会：**新型コロナウイルス感染拡大に伴う学校における歯科保健対策の実施状況調査では、県下245校の小学校を対象にしたアンケートによると回答があった223校中元々フッ化物洗口を行っていたのは110校あり、中断したのは13校あった。歯みがきを中断したのは、223校中12校、中断した時期は令和2年3月～令和3年1月と幅がある。歯みがきと洗口を中断している学校は4校あり中断した時期は2校が同時期に中断していた。2校はフッ化物洗口に遅れて歯みがきを中断していた。

**【題目】** 校医報酬について

**【要旨】** 校医報酬について不公平感を会員から訴える機会が増えている。幼稚園、小学校、中学校を比べると小学校が最も事業が多く出務回数が増える。また、児童数が数十人の学校園から1000人を超えるところまでかなりの隔りがある。当然、大変な所ほど新任学校歯科医のなり手が見つかりにくくなる。その差を小さくして不公平感の無いようにどのように工夫されているか教えていただきたい。

**【回答】** **日本学校歯科医会：**各行政によって対応、報酬はまちまちである。校医報酬の基準は、学校医4名、学校歯科医1名、学校薬剤師1名が基準でそれぞれの行政に地方交付税交付金として配布される。各行政がどのような名目で使用してもよくその結果、校医報酬が基準より高い行政もあれば低い行政もある。

**大阪府学校歯科医会：**府立学校（府立高等学校、府立支援学校）においては、生徒・児童数に応じて応援歯科医を配置する制度が設けられている。幼稚園、小学校、中学校においては、各市町村の加盟団体で教育委員会と協議して対応している。例えば、学校の児童数に応じて複数名の学校歯科医を配置したり（400名に対して1名の学校歯科医を配置するなど）各市に配置する学校歯科医数を一定と

して、各学校の児童数の増減に応じて学校歯科医の担当校を移動するなどの工夫が成されている。

## 大阪市学校歯科医会からの情報交換についての題目の各団体からの回答（抜粋）

**【題目】** 新型コロナウイルスの感染対策の現状調査について

**【要旨】** 新型コロナウイルス感染対策について教育委員会からの指導に従い、歯科健康診断、健康教育を実施してきた。会員より様々な問い合わせがある中、実際起っている問題点の情報収集のため、令和2年度の状況についてWebを用いたアンケート調査を会員に対し実施した。その結果について報告、解決策の提案を行った。今回、他団体においてどのようなことが実施されたのか、アンケート調査など行われたならばどのような問いかけをされたのか教えて頂きたい。

**【回答】** 日本学校歯科医会：本会としても、このアンケート調査の結果が気になる。

兵庫県歯科医師会：令和2年度に地方会に行ったアンケート調査内容はコロナウイルス禍における郡市区歯科医師会での健診状況、学校との取り組み・取り決め、学校側又は学校歯科医側での問題発生事例、新たに導入された健診時の医療資材、新たな健診様式（予定分も含めて）についてご記入下さいというアンケートを行い様々な情報提供を頂いた。

大阪府学校歯科医会：大阪府下各種学校における新型コロナウイルス感染症に対する感染防止対策、対応についての調査は当会として行っていない。定期健康診断実施時における感染症拡大防止策については当会所属の各市町村学校歯科医会、歯科医師会学校歯科担当にお任せをしており、対応策を教育委員会ならびに各校と検討いただいている。大阪府立学校におきましては大阪府教育庁と打ち合わせの上、定期歯科健康診断実施時の感染症拡大防止に向けた各種アイテムの調達、準備、設置を行っていただき、各校保健担当者と担当歯科医師が協議の上、実施時期、実施方法を定め、安全な健康診断実施につながっていると考えている。

**【題目】** 新任学校歯科医研修会のオンライン開催について

**【要旨】** 令和3年度新任学校歯科医研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大によりWebのみの開催になった。日学歯も基礎研修をWebで認めるようになった。開催にあたり受講者とは、接続の確認を行い本番に備えた。今後も会議や研修会をWebで開催する必要性は増えてくると思われるが、各団体はどのように対応されているかお聞きしたい。

**【回答】** 日本学校歯科医会：Webによる研修会は、参加がしやすい反面準備や経費が掛かる欠点もある。本会としても十分に検討する必要があると考える。

奈良県歯科医師会：令和3年11月に予定している日学歯の学校歯科医基礎研修、更新研修会は、現状を鑑みWeb併用で行うことにした。受講者との接続に不安があるので、事前準備を十分にしておける。

兵庫県歯科医師会：今後のポストコロナにおいてもWebなどリモートでの使用頻度は増加してくると考える。会場受講とWeb受講の併用開催が選択可能なように取り組んでいる。

大阪府学校歯科医会：新任学校歯科医研修会は、令和3年4月11日に大阪府歯科医師会館第6会議室での会場開催とオンライン開催を併用、会場受講者4名 オンライン受講者68名であった。

# ■ 公益社団法人日本学校歯科医会 第104回 臨時代議員会 ■

開催日時 令和3年12月15日（水）午後1時30分～午後3時

開催場所 T K P 市ヶ谷ビル5Fホール5A会議室

出席者 西本達哉・藤野康德

- |             |          |          |
|-------------|----------|----------|
| 1. 開会の辞     | 副会長      | 齋藤秀子     |
| 2. 挨拶       | 会長       | 川本強      |
| 3. 来賓挨拶     | 日本歯科医師会  | 副会長 佐藤保  |
|             | 日本歯科医師連盟 | 理事長 浦田健二 |
| 4. 黙祷       |          |          |
| 5. 仮議長の選出   |          |          |
| 6. 議事録署名人指名 | 大阪市      | 西本達哉     |
|             | 福岡市      | 泉幸三      |



## 7. 議事

第1号議案 代議員会議長・副議長の選出の件

第2号議案 予算決算特別委員会委員の選出の件

第3号議案 議事運営特別委員会委員の選出の件

当会藤野康德副会長が近畿・北陸ブロックから選出されました。

## 8. 報告

- 1) 委員会報告
- 2) 会務現況報告
- 3) 会計現況報告

## 9. 協議

・会員数24,160名で減少傾向がみられる事について

私立学校の学校歯科医に入会を勧めている。

・学校医と学校歯科医の報酬について

報酬は地方交付税で賄われ、一校につき校医4名、学校歯科医1名、学校薬剤師1名であり、校医と学校歯科医は同じで薬剤師は2分の1である。全国平均は一校あたり年間約1,080,000円で、これを上記6名で分配すると学校歯科医は11分の2となり、その平均額は224,000円である。

## 10. その他

## 11. 閉会の辞

副会長 柘植紳平

# 第85回 全国学校歯科保健研究大会

主催 文部科学省・公益社団法人日本学校歯科医会  
 公益財団法人日本学校保健会  
 公益社団法人東京都学校歯科医会

期日 令和3年10月21日（木）14時からライブ配信・オンデマンド配信  
 会期終了後、アーカイブ閲覧可能期間令和3年11月21日 23：59まで

場所 東京都 有楽町朝日ホール

形式 ライブ配信・オンデマンド配信

主題及び副題 「生き抜く力」をはぐくむ歯・口の健康づくりの展開を目指して  
 ～学校での新しい生活様式～

出席者 大阪市学校歯科医会  
 副会長 藤野康徳



日程 21日（木）ライブ配信

開会式・表彰式 14：00～15：00

特別講演 15：15～16：15

演題 「芸術と解剖学の間に」

講師 東京藝術大学美術学部芸術学科教授 布施英利  
 （文部科学大臣賞 表彰式  
 オンデマンド配信画面より  
 大阪市立菅南幼稚園・当会藤野副会長）

シンポジウム 16：30～18：30

座長 日本学校歯科医会 副会長 柘植紳平

基調講演 東京歯科大学市川総合病院 呼吸器内科教授 寺嶋毅

シンポジスト① 文部科学省初等中等教育局 健康教育・食育課  
 がん教育推進係 係長 馬場久美子

シンポジスト② 全国養護教諭連絡協議会 会長 小林幸恵

シンポジスト③ 日本学校歯科医会 理事 柴田宏

閉会式 18：45～19：00

領域別研究協議会 オンデマンド配信 10月21日～11月21日 23：59まで公開

\*幼稚園・認定こども園・保育所部会

座長 日本学校歯科医会 理事 水谷成彦

発表者① 荒川区立汐入こども園 園長 大山裕子

発表者② 大阪市立日東幼稚園 指導養護教諭 山中理恵子

アドバイザー 神奈川歯科大学歯学部 小児歯科学講座 教授 木本茂成

\*小学校部会

座長 日本学校歯科医会 理事 平瀬久義

発表者① 美濃加茂市立太田小学校 養護教諭 稲垣章子

発表者②	二戸市立金田一小学校	養護教諭	梅津美里
アドバイザー	鶴見大学歯学部 小児歯科学講座	教授	朝田芳信
*中学校部会			
座長	日本学校歯科医会	常務理事	佐々木貴浩
発表者①	熊谷市立富士見中学校	養護教諭	中島良子
発表者②	加須市立加須平成中学校	養護教諭	青木美子
アドバイザー	日本大学歯学部 衛生学講座	教授	川戸貴行
*高等学校部会			
座長	日本学校歯科医会	理事	吉岡弘二
発表者①	岩手県立大東高等学校	学校歯科医	熊谷博伸
発表者②	香川県立善通寺第一高等学校	養護教諭	琢磨美生
アドバイザー	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科		
	健康推進歯学分野	教授	相田潤
*特別支援教育部会			
座長	日本学校歯科医会	常務理事	今井健二
発表者①	千葉県立特別支援学校流山高等学園	養護教諭	須田浩美
発表者②	宮崎県立延岡しろやま支援学校	養護教諭	内山優子
アドバイザー	昭和大学歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座		
	口腔衛生学部門	教授	弘中祥司

今年度の大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、初めての「ライブ配信」、「オンデマンド配信」の2部からなるWeb形式となった。Web開催のメリットは、今までは時間の関係上で全てを見ることができなかった発表を、オンデマンドである期間何度でも見直すことができた事である。今後もこの開催方法が検討されるであろう。

表彰式では、大阪市立菅南幼稚園が文部科学大臣賞を受賞され、当会の藤野副会長が代理として出席した。また生魂小学校、堀江小学校、都島中学校が奨励賞を受賞された。大変おめでたいことである。

特別講演の布施英利先生の講演は、「芸術と解剖学の間に」の題で、解剖を通して人体構造を研究し、解剖学的に見た構造とその動きを投影したレオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晩餐」を紹介し解説された。また、美術解剖学の歴史と芸術がなにを表現しなければならないかを講演いただいた。

基調講演では、寺島毅先生より「COVID-19流行下における歯と口の健康づくり」と題して、1) マスクの効果、2) マスクの負の側面、3) 口呼吸と気管支ぜんそくの関連、4) 口腔内を清潔に保つための重要性、5) 学校内感染状況と学童における重症化率、6) 第5波の振り返りと今後について、などを解説された。シンポジウムは、コロナ感染対策での新しい学校生活様式について、今の現状を分析してどのように工夫して歯と口の健康を守っていくかの内容であった。

# — 令和3年度 第2回 支部長会 —

日 時 令和3年10月24日(土) 午後1時30分～3時  
場 所 大阪府歯科医師会館 大ホール

司 会  
開会のことば  
会長挨拶  
会務報告  
報告事項

専務理事 上 田 裕 彦  
副 会 長 長 崎 三 男  
会 長 西 本 達 哉



1. 令和3年度定時総会
2. 日本学校歯科医会 第103回定時代議員会
3. マウスガード講習会・会員研修会
4. 各支部との連絡方法について
5. 学術部会報告
6. 「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」  
「歯・口の健康啓発標語コンクール」
7. 第60回全国学校歯科保健優良校表彰 結果報告
8. 医療券について
9. 出務回数について
10. 子どもの歯を守る懇談会
11. 定期健康診断に関する大阪市教育委員会からの回答
12. その他・支部交付金について

専務理事 上 田 裕 彦  
副 会 長 藤 野 康 徳  
常務理事 吉 松 昌 之  
常務理事 柳 田 和 彦  
常務理事 吉 松 昌 之  
  
常務理事 弘 田 和 彦  
会 長 西 本 達 哉  
理 事 長 谷 川 貴 一  
会 長 西 本 達 哉  
副 会 長 藤 野 康 徳  
会 長 西 本 達 哉  
常務理事 讃 井 茂 行

## 質 疑 応 答

- Q. 生野区では、小中一貫校が2校開講する予定だが、学校歯科医任命は小学校1名、中学校1名の2名体制で市教委に要望できないか
- Q. フッ化物洗口当日に担当学校歯科医が、急用で行けない場合の対応は
- Q. フッ化物洗口の際に劇薬フッ化物薬品の指示書を出さなくてよいか
- Q. 検診欠席者を保護者が引率して、検診を受けるように指示のあった学校がある。このような文章が発行されるのは問題である。学校側に是正を要求する。
- Q. 学校医療券での治療で、500点以下の場合は
- Q. 課外活動中の受傷についても学校医療券は使用できるのか

閉会のことば

副 会 長 藤 野 康 徳

# — 第71回 全国学校歯科医協議会 —

日 時 令和3年10月28日（木）15時40分

形 式 Web及び誌面開催

開 会 式

開 会 の 辞 岡山県歯科医師会 副会長 小見山 信

挨 拶 岡山県歯科医師会 会 長 西 岡 宏 樹



講 演

講 演 I 「子どもの口はふしぎがいっぱい」

国立モンゴル医学・科学大学歯学部 客員教授

岡 崎 好 秀

講 演 II 「大学生の歯・口の健康に関わる要因」

岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 予防歯科学分野 教授

森 田 学

閉 会 の 辞

岡山県歯科医師会 副会長 木 村 里 栄

講 演 I 「子どもの口はふしぎがいっぱい」

岡 崎 好 秀

講 演 内 容

1. 子どもの心に貯金をして帰す
2. 東京帝国大学医学校 青山胤道教授の医学生への言葉
3. 時間軸から口腔内を見るところ
4. これまでに会った“最も不思議な5歳児の口”
5. 「人は褒められて初めて自分の良さに気がつき、愛されて人を愛することができ、認められて心にゆとりを持つことができる」故 渡辺和子先生

6. 3歳のチンパンジーにバナナを与えると
7. “家”の語源は“竈”
8. エッセンとフレッセン
9. 単独の生き物Vs,集団の生き物
10. この中に赤色のこいのぼりは何匹いますか？

講演Ⅱ 「大学生の歯・口の健康に関わる要因」 森田 学

講演内容 岡山大学での2008年から12年間にわたる入学時と卒業時の歯科健診をおこない調査した結果、在学中にどの程度う蝕が増えたか、また歯周病がどの程度悪化したか、「一人暮らしになると、口腔保健行動は変わるか?」、「誰から得た情報が、大学生の口腔保健行動を変えるか?」「習慣性飲酒者の割合は? 飲酒による口腔への影響は?」「受動喫煙と睡眠について口腔への影響は?」「食育の知識有り無しが口腔に与える影響は?」「歯周病と早産、低体重児出産の関係について」などいくつかの疑問を設定してエビデンスを導いた内容である。

# 令和3年度 全国学校保健・安全研究大会

主 題 生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進  
～自他の健康で安全な生活の実現に向けて、主体的に取り組むことができる子ども  
の育成～

主 催 文部科学省、岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、(公財)日本学校保健会  
岡山県学校保健会

期 間 令和3年10月28日(木)～29日(金)

開催方法 Web開催 {ライブ配信・オンデマンド配信(11/5～12/5)}

会 場 ピュアリティまきび(岡山県岡山市北区下石井2丁目6-41)

内 容 (1) 全体会

・開会式

・表彰式

学校保健・学校安全の功労者表彰の「学校保健の部」

当会から西本達哉会長が文部科学大臣賞を受賞しました。

・記念講演 講師 昭和大学医学部 内科学講座 臨床感染症学部門

客員教授 二木 芳 人

演題 「新型コロナウイルス感染症の現状と今後」

(2) 課題別研究協議会 第5課題 歯・口の健康づくり

①鹿児島県立曾於高等学校

養護教諭 實 方 めぐみ

「健康課題に向き合い、自己解決できる生徒の育成」

～歯・口の健康づくりの取組を通して～

②広島県東広島市立八本松小学校

養護教諭 天 満 弘 美

「健康的な生活習慣を身に付ける児童を育てる」

～歯・口の健康づくりを通して～

③岡山県立岡山西支援学校

養護教諭 森 美恵子

「生涯にわたり主体的に歯・口の健康づくりに取り組む児童生徒の育成」

～学校・家庭・地域・関係機関との協働を通して～

・講師 公益社団法人日本学校歯科医会 副会長 柘 植 紳 平

指導助言者 横浜市教育委員会事務局 小中学校企画課課長 根 岸 淳

## 全体会

表彰式では、学校保健と学校安全の功労者に対して表彰が行われ、大阪市からは、当会の西本達哉会長が受賞しました。

## 記念講演

「新型コロナウイルス感染症の現状と今後」 昭和大学客員教授 二木 芳 人

全世界に広がった新型コロナウイルス感染症はワクチン接種や各国の感染対策により減少傾向に見えるが、英国、欧州、東欧諸国、ロシアの感染者数は増加している。

日本では、第5波が収束状況に向かっていることを検証すると、ワクチン効果と、日本国民の意識ある行動変容が大きく影響している。今後は、ウイルス株の変異による感染者数の増加が懸念される。ワクチン接種のほかに公的検査体制と医療提供体制の充実や保健所機能の見直し、感染症に対する衛生法の見直し、更なるワクチン開発や新薬の研究、感染症の基礎的研究などが日本の感染収束に向けて必要であるとの内容であった。

# 令和3年度「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」 「歯・口の健康啓発標語コンクール」

令和3年度「歯・口の健康に関する図画・ポスター、標語コンクール」審査会

日時：令和3年9月16日（木）午後1時15分～

場所：大阪府歯科医師会館 大ホール

審査員：一般社団法人大阪市学校歯科医会、

大阪市教育委員会事務局指導部高等学校教育担当指導主事、

大阪市教育センター教育振興担当指導主事、読売新聞社、

(株)P&A、(株)モリタ、(株)プランニング・ロケッツ



今年度は、読売新聞社をはじめ数社の協賛を得まして、コンクールが開催されました。

## ● 図画・ポスター

応募総数398作品（幼稚園5、小学校345、中学校42、高等学校6）より入賞作品41作品を選出しました。入賞作品のうち小学校低学年1作品、小学校高学年3作品、中学校1作品、高等学校1作品の計6作品を大阪市代表作品として公益社団法人日本学校歯科医会の中央審査会に送付しました。今年度の中央審査会で、大阪市立工芸高校3年生の山下瑞葵さんの作品が優秀賞に輝きました。大阪市学校歯科医会会長賞4作品と各協賛企業による各賞も決定いたしました。

「日本学校歯科医会への推薦作品」

小学校（低学年の部）代表

鶴橋小学校1年 山下 優奈

小学校（高学年の部）代表

上福島小学校4年 吉谷 碩人

小学校（高学年の部）代表

玉川小学校6年 藤 瑞歩

小学校（高学年の部）代表

神津小学校6年 奥田 壮人

中学校代表

旭陽中学校2年 高嶋 静来

高等学校代表

工芸高等学校3年 山下 瑞葵

## ● 標語

応募総数118点（小学校66点、中学校52点）のうち最も優れた作品1点を大阪市代表とし公益社団法人日本歯科医師会の中央審査会に送付しましたところ、大阪市立茨田中学校3年生藤原ひよりさんの作品が、最優秀賞を受賞しました。また、大阪市学校歯科医会会長賞2点、読売新聞社賞1点を選出いたしました。

「日本歯科医師会への推薦作品」

『いただきます 人生100年 歯と共に』

茨田中学校3年 藤原 ひより

代表作品の図画・ポスター、標語は大阪市学校歯科医会ホームページで紹介するとともに、入賞作品を含めて下記の要項で展示しました。



展示期間：令和3年12月5日（金）～17日（水）

展示場所：大阪市立中央図書館（西区）

〔日本学校歯科医会への推薦作品〕



工芸高等学校 3年  
山下 瑞葵



旭陽中学校 2年  
高嶋 静来



上福島小学校 4年  
吉谷 碩人



神津小学校 6年  
奥田 壮人



玉川小学校 6年 藤 瑞歩



鶴橋小学校 1年  
山下 優奈

標語

最優秀賞

茨田中学校 3年 藤原 ひより

いただきます  
人生100年  
歯と共に

〔大阪市学校歯科医会 会長賞〕



中央高等学校2年 堀 柚月



十三中学校3年  
栗屋 陽太



神津小学校5年 竹内 愛莉



鯉江東小学校2年 富田 六華



住吉幼稚園 年長 神内 陽仁

標語 入選作品

今日くらい  
そんな油断が  
命とり

三国中学校 1年  
下村 陸都

歯みがきで  
むし菌もコロナも  
バイバイ菌

東中学校 1年  
古川 明波

〔読売新聞社賞〕



市岡小学校 5年  
田中 凜音

標語

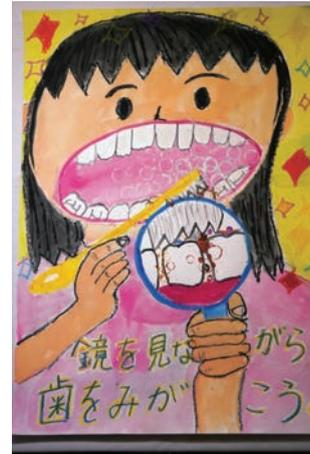
はみがきは  
歯を守ることに  
生きることに

大阪市立鯉江東小学 5年 吉本 光希



中央高等学校 2年 堀 柚月

〔P&A賞〕



天王寺小学校 4年 櫻井 彩葉



生魂小学校 1年  
山本 陽介

〔モリタ賞〕



工芸高等学校 3年  
東 真結希



勝山小学校 6年  
前塚 優菜



関目東小学校 2年  
大谷 一花



新庄小学校 5年  
西山 葵

# 令和3年度「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」 「歯・口の健康啓発標語コンクール」表彰式

常務理事 弘田 和彦

令和3年12月18日（土）午後1時30分より、読売新聞大阪本社内「ギャラリーよみうり」の会場にて執り行いました。前日からの寒波により気温が下がり、受賞者の方の当日の欠席が気になりましたが、表彰式参加者17名全員出席で主催者一同安堵致し開催できました。



定刻通り、読売新聞社「新聞のちから」委員会 赤川裕紀氏の司会により進行しました。皆さん少し緊張気味でありました。感染対策の都合上会場内は、受賞者と同伴者1名とし、間隔を確保し行いました。



大阪市学校歯科医会 西本達哉会長の挨拶では、このような素晴らしい作品がどのような方たちが描かれたのか、本日の表彰式でお会いできるのを楽しみにしていたことや、コンクールの長い歴史の中で、表彰式を行うことが初めてであること、協賛企業への感謝の言葉を述べました。



読売新聞「新聞のちから」委員会事務局長 戸田博子氏の挨拶では、今回、審査会に参加し素晴らしい作品が多く、選考に大変長い時間がかかったこと、コロナ禍の不便な生活が続いていますが、この中でこそ、絵や言葉の題材が逆に広がって、幅広い表現につながっていることなどうれしい発見がありました。自分を表現し、伝えていくことは皆さんの「生きる力」につながります。

これからも新聞や本などたくさん文章に触れて創造力をさらにのばして、大事に育ててほしいことを話されました。



## 歯・口の健康に関する図画・ポスターの部 表彰状授与の様子

大阪市代表並びに大阪市学校歯科医会会長賞は西本会長から賞状と副賞が授与された。また、各協賛企業からも同様に授与がなされました。



大阪市代表



大阪市学校歯科医会会長賞



P&A賞



モリタ賞



アートディレクター賞



読売新聞社賞

## 歯・口の健康啓発標語の部 表彰状授与の様子

「いただきます 人生100年 歯と共に」

この作品は、日本歯科医師会が主催するコンクールで最優秀賞に選出され、令和4年度「歯・口の健康週間を中心に口腔衛生普及に関する全国的な広報活動に使用される予定です。

表彰式の後、当会上田裕彦専務理事より大阪市学校歯科医会は、子ども達に生きる力を身に付けることを目的に様々な活動を行っていること、それにより生涯にわたり健康で活力のある生活を送る基礎を培うことを主眼にしていることを述べました。また大阪市教育委員会の歯科衛生士戸木優子氏は、小学校の「歯・口の健康教室」の様子や「低学年における歯みがき指導」の内容を動画、スライドショーを使用してミニ講座を行いました。読売新聞社からはこども新聞・中高生新聞の紹介をされました。そして最後に受賞者の方と記念撮影を行い式は滞りなく終了となりました。受賞した方々は、皆さん誇らしげで、輝いていました。



大阪市代表



読売新聞社賞



# 令和3年度 マウスガード講習会

理事 中川 敦嗣

学校現場における安全管理と安全指導、教育（マウスガード普及啓発を含む）に役立てていただく為のマウスガード講習会は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、昨年度は中止だったが、今年度は、出席者の検温、アルコール消毒、入室前のうがい薬によるうがい、マスク着用という感染対策がなされ、2年ぶりに行われた。今回の講習会も一般社団法人日本スポーツ歯科学会認定マウスガード講習会として開催された。

## 開催日時

令和3年11月28日(日)午前10時～午後1時

## 場所

サラヤメディカルトレーニングセンター

## 講師

大阪大学大学院 歯学研究科

前田 芳信 招聘教授

町 博之 先生

権田 知也 先生

金澤 歩 先生



## 講習会内容

最新スポーツ歯学のトピックス、マウスガードの効果などに関する内容  
ご自身で使っていただけるマウスガード製作実習

## 参考図書

マウスガードの製作ガイド（永末書店）

権田先生の司会のもと西本会長の挨拶後、前田教授によるマウスガード製作の重要なポイントの説明から講義が始まった。



講義時間の都合上、受講生の用意した自身の上顎模型についての注意事項の説明後、最新のバキュームフォーマーを使い

シート圧接が行われ、機械の特徴、使用方法など業務担当者（株式会社スマートプラクティスジャパン、株式会社松風）より説明を受けた。



町先生による実習が始まった。手元がスクリーンに映し出され、よく見える状態で作成における細かい注意点の指導が、製作ガイドを見ながら行われた。



実習中は講師の先生方が各テーブルをまわり、受講者の質問に丁寧に答えていた

き、受講生が作成中のマウスガードを手に取り、ポイントも一つ一つ明確に教えていただいた。



マウスガードの形成後、各自用意した咬合器につけた模型に装着し咬合調整が行われた。



時間の都合上、仕上げまでは到達できないため、仕上げ方法の説明を受け、前田教授からマウスガードの重要性の講義の後、受講生に修了書が授与された。

最後に藤野副会長の謝辞で約3時間にわたったマウスガード講習会は終了した。



# ◆ 令和3年度 大阪市学校歯科医会 会員研修会 ◆

理事 梅山 勇樹

大阪府歯科医師会館 大ホールにて大阪大学大学院 歯学研究科 口腔分子免疫制御学講座 予防歯科学 天野敦雄教授をお招きして会員研修会を開催しました。

下記の演題を2時間にわたり講演して頂きました。  
今年度の会員研修会では新型コロナウイルス感染症拡大防止のために以下の対策を徹底しました。

- ▶ 事前申し込み制による出席者数の制限
- ▶ 受付時の検温・手指消毒、講演中のマスク着用
- ▶ 講演中の換気



日時 令和3年12月4日(土) 午後3時～午後5時  
場所 大阪府歯科医師会館 大ホール  
講師 大阪大学大学院 歯学研究科 口腔分子免疫制御学  
講座 予防歯科学 教授 天野敦雄  
演題 歯周病予防は小児期から始まる

参考文献 天野敦雄 歯科衛生士のための21世紀のペリオドントロジーダイジェスト  
【増補改訂版】クインテッセンス出版2020  
天野敦雄 天野ドクターの歯周病絵本・バイオフィーム公国物語  
クインテッセンス出版2019  
天野敦雄 長生きしたい人は歯周病を治しなさい 文春新書2021

## 講演内容

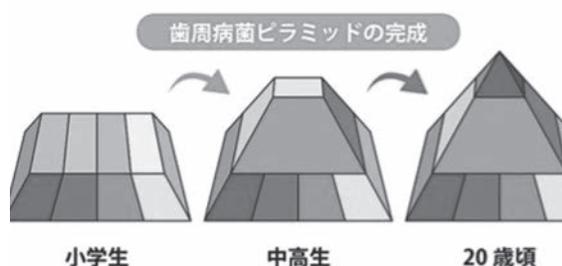
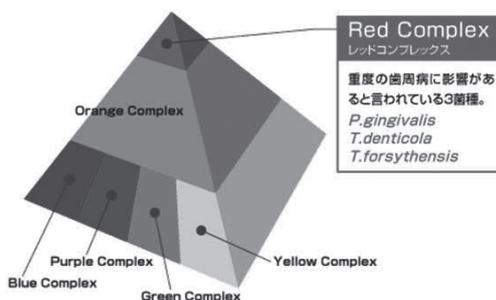
### 1. 歯周病菌の定着時期

- 腸内細菌叢の完成は3歳頃と言われていますが、口腔内細菌叢の完成は成人後です。小学校低学年児の口腔内に歯周病菌はいません。小学校高学年以降に歯周病菌が住み着き始めます。そして、いろいろな種類の菌が定着し、プラークの菌の種類が複雑になります。

最も強力な歯周病菌 (Red Complex) は18歳以降に感染します。

感染ルートは、パートナーからの唾液感染・イヌやネコなどのペットからの唾液感染・食器や食べ物に付着した唾液からの感染が考えられます。

うつさない、うつされないために小児期からの準備が必要です。



- 常在菌のMicrobial shiftによりバイオフィームの病原性が高くなります。

Microbial shiftとは、バイオフィルムを取り巻く、栄養、温度、pH、嫌気度などの環境変化によって、細菌たちが活気づき病原性を高める現象のことです。細菌たちが「定常」から「悪玉」にシフトし高病原化するのです。こうなるとバイオフィルムと歯・歯周組織の間の均衡が崩れ、う蝕や歯周病が発症します。

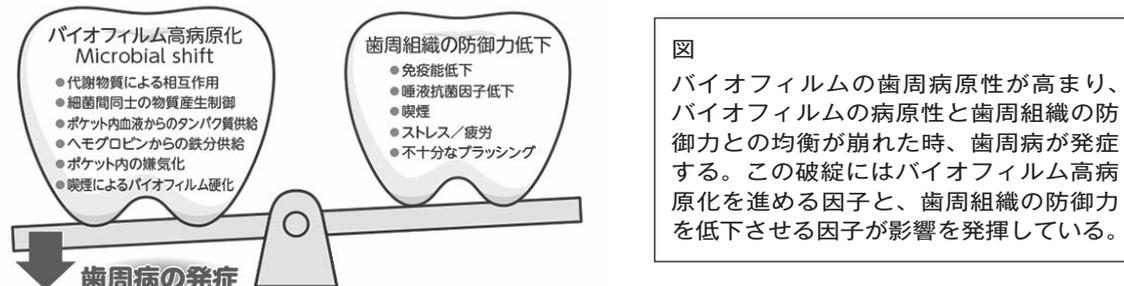


天野敦雄 他 特別企画「新時代の歯周病を知る」日本歯科評論76(5).2016抜粋改変

- 歯周病菌は汚い口には容易に定着し、綺麗な口には定着しにくいことが判ってきました。プラークが多数の菌種からなる高病原性のものになるかどうかは、小児期からのプロフェッショナルケア・セルフケアの質の影響を受けます。
- 歯周病菌が定着すると、歯周病原性プラークが完成します。住み着いた菌はもう追い出せません。

## 2. 歯周病の発症原因

- 歯周病はプラークの病原性が「低病原性」から「高病原性」にシフトすることにより発症します。このシフトによって「プラークの病原性」と「歯ぐきの抵抗力」との間のバランスが崩れ、歯周病が発症・進行します。



- プラークと歯周組織とのバランスが崩れるのは、歯肉から血が出るようになった時です。歯周病菌は血液中の赤血球ヘモグロビンを鉄源として利用し、血清タンパク質を栄養素として摂取します。その結果、栄養補給をした歯周病菌は大いに増殖しプラークの病原性は高まります。

## 3. 口呼吸の歯周組織への影響

小児期の口呼吸癖は歯周組織に乾燥による炎症をもたらすとともに、プラークを堅くし歯ブラシでは十分に落とせなくなります。その結果、歯肉炎や口臭が起こります。

- 口呼吸による歯肉の慢性炎症はプラーク細菌に栄養素を供給し、プラークの病原性を高めます。口呼吸の継続によって、成人期以降の歯周病発症にも影響を与えます。

## 4. 健口を守る

- 小児期の口腔管理はむし歯予防のためだけではありません。大人になってからの歯周病予防にも大きな意味を持っています。守れ、子どもたちの健口！

引用・参考文献、webサイト

大阪大学大学院歯学研究科 予防歯科学 教授 天野敦雄

『予防歯科で防ぎ守る！ ～ポスト平成の歯科医療～』

DENTAL PLAZA (株式会社モリタ) <https://pdf.dental-plaza.com/dmr/no232/>

2022年1月20日閲覧

# ✳ 令和3年度 大阪二学歯連絡協議会 ✳

府学歯と市学歯の情報交換会である二学歯連絡協議会は11月27日（土）に開催しました。

来賓として大阪府歯科医師会より吉岡慎郎副会長にご臨席を賜り、「府学歯・市学歯・大阪府歯科医師会の学校歯科連合会で、学校園の健康診断を中心に子どもたちの健康増進のためにご尽力を賜りますようお願い申し上げます。」とお言葉を頂きました。西本達哉市学歯会長の挨拶では、「2年後の全国学校歯科保健研究大会を連合チームで力を合わせて成功に導きましょう。」と述べました。



日 時 令和3年11月27日（土）午後3時より  
 場 所 ホテルモントレ ラ・スール大阪（大阪市 中央区域見）  
 司 会 大阪府学校歯科医会 常務理事 奥 田 宗 義  
 日 程

開 会 の 辞 大阪府学校歯科医会 副 会 長 吉 川 伸  
 会 長 挨拶 大阪府学校歯科医会 会 長 上 田 直 克  
 大阪府学校歯科医会 会 長 西 本 達 哉  
 来 賓 挨拶 大阪府歯科医師会 副 会 長 吉 岡 慎 郎  
 出席者紹介 大阪府歯科医師会 副 会 長 吉 岡 慎 郎  
 理 事 後 藤 修 一 郎  
 学 術 地 域 保 健 課 課 長 平 田 吉 男  
 事 務 局 東 端 竜 之 介



## 大阪市学校歯科医会

会 長 西本 達哉  
 副 会 長 長崎 三男  
 副 会 長 藤野 康德  
 副 会 長 河野 好昭  
 専務理事 上田 裕彦  
 常務理事 柳田 和彦  
 常務理事 吉松 昌之  
 常務理事 藤原 成樹  
 常務理事 弘田 和彦  
 常務理事 天上 吉隆  
 常務理事 讃井 茂行  
 事 務 局 伊牟田裕加

## 大阪府学校歯科医会

会 長 上田 直克  
 副 会 長 吉川 伸  
 副 会 長 水谷 成彦  
 副 会 長 金本 均  
 常務理事 奥田 宗義  
 常務理事 荒木 雅夫  
 常務理事 川口 護  
 常務理事 岡 重人  
 常務理事 白井 敏彦  
 常務理事 村田 肇  
 事 務 局 清水 香陽  
 安東 悦子

報告 日本学校歯科医会からの報告 日学歯 理事 水谷 成彦

議事・意見・情報交換 大阪府学校歯科医会から提出の情報交換

- (1) 日学歯 更新研修について（岡常務理事）
- (2) 令和3年度大阪府学校歯科保健研究大会について（白井常務理事）

大阪市学校歯科医会から提出の情報交換

- (1) コロナ禍における学術部会の取り組み（吉松常務理事）
- (2) 令和3年度図画・ポスター・標語コンクール（弘田常務理事）

閉 会 の 辞  
 懇 親 会

大阪府学校歯科医会 副会長 金本 均  
 午後6時より（会議終了後）感染対策を徹底し開催された。

# 大阪市学校歯科医会における 学校歯科保健事業の指針について

副会長 河野好昭

## [検診協力医]

大阪市学校歯科医会（後略：市学歯）及び大阪市教育委員会（後略：市教委）は、学校歯科健康診断における協力医を基本的に認めていません。市教委は、特例として児童・生徒数1000人以上の大規模校のみに対して、1名の協力医を認めて出務回数・時間を問わず一律で報酬が支給されます。

殆どの学校園では一人で歯科健康診断を行いますので、日程と回数は学校園と学校歯科医との協議の上で決めて頂いています。市学歯では、診査一人に平均1分を要すると指針を出していますので、このことを考慮いただきたいと考えています。

因みに私は中学校を担当しており、約300人を1日2時間弱の3日間で検診を行っております。

## [オートクレーブ]

健康診断に使用する器具の滅菌消毒方法はオートクレーブがベストですが、未だ煮沸等の他の方法でされている所もあります。市学歯は、以前からオートクレーブ設置の要望を出し続けて参りました。令和2年度には新型コロナウイルス感染対策支援金が、各学校園に支給されたとのことで、オートクレーブ購入に充当されるものと、市学歯では想定しておりましたが、実

際の設置率は73.5%でした。長年に亘る保健室への毎年の少ない予算から購入が叶わなかったことから非常に残念でした。今後も引き続き早急の設置を要望してまいります。

## [ダブルミラーと照明]

口腔内に手指が直接触れないよう診査する方法としてダブルミラー法が推奨されています。また、ペンライトとミラーを用いた診査法もあります。ペンライトの使用について日学歯は認めておりますが、コロナ禍においては一層の配慮をして頂きますようお願いいたします。令和2年度の学校医会からの報告（年間活動報告書）の中に、ディスプレイ・ミラーを使用した学校園がありましたが、毎年の購入や廃棄処分費用負担を鑑みますと現実的ではなく、滅菌後の保管を慎重にして従来通りの方法で十分な滅菌効果を得ることができます。滅菌は学校側ですることになっていますが、学校に滅菌器がないので自院で滅菌し何百本のミラーを持参した報告も出ています。

健康診断時の照明については、白熱電球は照度が低く高熱を発しますので低コストで長持ちするLEDが効果的と考えます。

### [検診未受検者の対応]

未受検者への対応については、学校園により差異があります。学校歯科医からも多く問い合わせがありましたので、今年度市学歯から市教委に確認しました。①予定された日程（4月～6月）に実施、②予定された日程に欠席した者について予備日（7月以降も可）を設け実施、③予備日に受けることができない児童・生徒は、その他の要件で学校歯科医が来校した際に実施、④、①～③の日程でも受けることができない場合は、安全に配慮し学校歯科医の診療所に学校教員が引率して受ける。以上4つのいずれかが認められるかを確認したところ、すべて認められるとの回答を得ました。

### [COの事後措置]

診査判定で特に注意を要することは、治療を要しない教育を目的とするCOです。平成7年に導入された判定項目の一つですが、COかCの判定は、歯科医師の間でも微妙な差異が少なからずあると考えられます。学校現場での健康診断はスクリーニングで、「健康」、「要観察」、「要医療（治療、精密検査）」に区分します。CO「要観察」の事後措置として、不適切な生活習慣（歯みがきをしない、間食をよくする、ダラダラと甘いものを食べる、飲むなど）を見直し自分の健康は、自分で守る意欲を育てる契機となるよう、児童生徒の健康教育教材として活用することが有益であると考えます。このようなことから、地域の歯科医師全員に周知し理解を得ることが今後の検討課題であります。

### [校医報酬]

学校歯科医の報酬は、国からの地方交付金のなかで各地方自治体が決定しています。大阪市は、児童生徒数①300人未満②301～600人③601人以上の分類で①～③各々で支給額が決定されています。（相当昔～現在）今更ながら問題は、支給額の極端に少ない差です。平成28年度の資料では、①と②の差額は1万円弱で、②と③では3万円位となっております。このことから、校医の不満は勿論のことですが、将来を見据えた場合の大規模校（③を含む1000人以上）の校医の受諾拒否（成り手不足）の可能性が浮上すると予測されます。数年前にはマスコミが、検診を1日1時間程1回出務で完結した事例を、報酬全額が高額時給であると週刊誌で報じました。その一方大規模校では、10回以上出務している校医がいます。以上のことを受けて、市学歯としましては今後、市教委に対して校医報酬の見直しについて協議・検討して行く次第です。

### [大阪市学校保健研究大会(2月大会)]

一昨年コロナ禍前の2月に辛うじて開催されました大阪市学校歯科保健研究大会（通称：2月大会）は、1960年（昭和35年）から主に養護教諭の先生方を対象に行われてきました。日程は、毎年2月の第3木曜日の午後2時から5時までとし、内容は第1部で大阪市よい歯の学校園表彰と全日本学校歯科保健優良校表彰の表彰式、第2部では学校歯科保健研究協議会として招聘した講師の講演会をする年と、大阪市の指定区あるいは指定校による2年間かけた推進

事業研究発表をする年とがあります。

### [学校歯科保健事業]

一昨年から今年のコロナ禍で実施が儘ならなかった学校歯科保健事業（指導）は、下記の五つあります。

- ①幼稚園：「歯みがき指導・保護者教室」
- ②小学校2年生：「低学年歯みがき指導」
- ③小学校4年生：「フッ化物洗口」
- ④小学校6年生：「歯・口の健康教室」
- ⑤中学校1年生：「歯・口の健康づくり」

以上、各々の日程は、学校側が市教委に希望日を提出して行っています。市学歯の会員に連絡が早急に伝わるようお願いしています。

各事業の歴史について、①は昭和49年から派遣された歯科衛生士による歯みがき指導と園歯科医（平成16年までは市学歯理事）による保護者教室とが平成18年市教委管轄で実施されていました。平成19年に子ども青少年局へ管轄が一部移行（保健事業）されてからは、この事業の実施園数が市立幼稚園の半数（約30園程）に限定されましたが、他の園でも自主的に実施している所もあります。②は平成7年から派遣された歯科衛生士が2年生学級単位で行っている体験学習型の歯みがき指導です。

上顎前歯1本を染色して、歯みがき後の2回目の染色状況から自分の歯みがきの問題に気づいて、歯垢を完全に取る方法を考えさせる問題発見・解決型の指導です。③は昭和38年からですが、大阪市から委託金が支出されるようになった昭和45年からでも半世紀以上継続している伝統ある保健指導です。4年生学級単位で歯科保健指導と

児童一人一人に応じた個別指導と口腔内検査をした後、トレー法によるフッ化物塗布（実施率ほぼ100%）を行っていましたが、令和2年度からは世界の動向を鑑みてフッ化物洗口へ変更しました。残念ながら昨年は、コロナ禍で実施校数が激減しました。④も昭和38年から「巡回歯みがき指導」という名称で行われてきましたが、平成14年に新しい学習指導要領が始まったことを契機として、6年生を対象に「歯・口の健康教室」の保健指導が開始されました。歯・口の健康に関心を持ち、歯周病の成因・予防法を理解し、全身の健康を保持増進する生活習慣を身につけることができるように目指しています。⑤は平成4年から「中学校歯みがき巡回指導」として始まり、平成14年に「歯・口の健康教室」と名称変更され、中学校1年生を対象とした学年別集団指導を派遣された歯科衛生士が行っていましたが、財政削減により派遣中止になった平成24年からは「歯・口の健康づくり」として、学校歯科医と養護教諭との協力で実施されています。

### [まとめ]

学校歯科保健事業は、生きる力の基礎を育成する幼稚園から、生きる力を育む学童期または、成人の入り口に達するまで生涯にわたる健康づくりを培う役割があります。

目的達成のためには、市教委と学校園と学校歯科医との三者が、歩み寄り連携して事業を進めていけますようお願いいたします。



# 令和3年度 慶びに輝く先生方



文部科学大臣表彰	西本達哉先生	天王寺区	天王寺小学校
大阪市市民表彰	柳田和彦先生	住之江区	南港北中学校
永年勤続表彰	大家澄子先生	都島区	友渕小学校
	大渡瀬状子先生	福島区	西野田幼稚園
	垣内康弘先生	福島区	吉野小学校
	柴田啓子先生	中央区東	中央高等学校
	中山盛詔先生	大正区	鶴町小学校
	岩本治先生	天王寺区	味原幼稚園
	久家邦靖先生	淀川区	新東三国小学校
	中尾幸一先生	東淀川区	瑞光中学校
	中谷憲博先生	旭区	清水小学校
	多名部泰徳先生	旭区	今市中学校
置田淳先生	住之江区	清江小学校	
野上清豪先生	東住吉区	中野中学校	
日本学校歯科医会会長表彰	曾我時雄先生	天王寺区	大阪ビジネスフロンティア高等学校
	岡本卓士先生	生野区	生野中学校
	増井裕先生	東住吉区	矢田西小学校
	奥村直孝先生	平野区	長吉六反中学校
古稀の御祝い	石見隆夫先生	此花区	伝法小学校
	横石篤始先生	西区	日吉幼稚園
	廣石憲一先生	天王寺区	真田山幼稚園
	吉川正美先生	浪速区	栄小学校
	薄孝先生	西淀川区	御幣島小学校
	矢谷慎一郎先生	西淀川区	歌島小学校
	伊藤公人先生	淀川区	北中島小学校
	藤野康徳先生	淀川区	新北野中学校
	榎木清和先生	生野区	巽小学校
	村田清治先生	旭区	大宮西小学校
	岡村茂先生	阿倍野区	昭和中学校
	南弘先生	住吉区	住吉中学校
	野上清豪先生	東住吉区	中野中学校
	榎村光仁先生	東住吉区	南百済小学校
	金井潤次先生	平野区	長吉幼稚園
	島津肇先生	平野区	喜連小学校

## 渚 紀代司先生(淀川区支部)を偲んで

副会長 藤野 康徳

元大阪市学校歯科医会副会長 渚紀代司先生が令和4年1月29日ご逝去されました。

昭和13年7月19日生まれの寅年、享年84歳でした。

先生は学校歯科医として、昭和62年4月1日に大阪市淀川区神津小学校に就任され、25年間活動されました。その学校歯科医会役員履歴は、大阪市学校歯科医会理事(平成16年度～19年度)、副会長(平成20年度～23年度)大阪市学校歯科医会淀川区支部 監事(平成10年度～23年度)を歴任されました。

淀川区歯科医師会においては、理事 監事 相談役として、特に平成3年度～平成4年度は会長(大阪府歯科医師会淀川区支部長)として活躍されました。

その当時、飲めないお酒をお付き合いのために練習して、少し飲めるようになったと言われていたことも懐かしく思い出されます。

その他として、大歯六稜会(北野高校卒でかつ大阪歯科大学卒)にも、新型コロナウイルス感染症のため最近の開催はできていませんが、篤い思いで参加していただいていたようです。

先生は書道にも精通されていて、毎年直筆の年賀状を頂戴し、新年のおめでたい気分になることができました。かつて淀川区歯科医師会の総会においては、白い大きな紙に毛筆で、次第を書いていただき、提示しておりました。とても格調高い雰囲気がありました。

また、大阪市学校歯科医会会報の表紙の題字も、快く引き受けて書いていただきました。

先生を語るうえで剣道のことは外せません。大学生の時から剣道を始められて、段位は四段であったとお伺いしております。後輩の方々からは怖いというより、厳しい先輩であったそうです。高校時代は

バスケットボールをされていた由です。かつて行われていた、大阪府歯科医師会主催のソフトボール大会において、センターの守備ではファインプレーをされるなど、スポーツマンとしての一面も見せていただきました。

日々の診療において、インレー・クラウン・ブリッジはいうに及ばず、クラスプの製作やフルデンチャーの配列から重合まで学生実習のごとく、ご自分で製作されていました。今でも時々先生が診療された患者様が来院されますが、とても心のこもった誠実な人柄を感じることができる、素晴らしい治療です。

平成24年3月31日に学校歯科医、歯科診療ともに完全にリタイアされ、その後は書道や絵を描くことなど、自由に楽しみたいといった計画も、思わぬ病魔との戦いを強いられ、少し心残りではなかったでしょうか。

神津小学校の学校歯科医、診療所は渚紀子先生が継承され、神津小学校は第59回(令和2年度)全日本学校歯科保健優良校表彰で大阪市代表として、奨励賞を受賞されました。

また、「令和3・4年度生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業」担当校として、活躍中です。

「淀の流」(六)という淀川区歯科医師会の会史がありますが、そこに投稿された渚先生の文章が、誠実な人柄を感じられる秀逸な内容なので、そのまま原文を転載したいと思います。

本当にありがとうございました。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。



# 肥 後 守

淀川地区終身会員 渚 紀代司

小学校二年生の正月、初詣の帰途、その朝、父からもらった「お年玉」を握りしめ、文房具屋に飛び込んだ。かねてより憧れであった小刀「肥後守」を買うためであった。今、思い起こすと、この「肥後守」が、私の人生を決めたように思っている。近所の家具屋で、木の端材をもらい、小割りをして、パーツを削り出し、セメダインで接着、ラッカーを塗って飛行機の模型を作ったり、中学生の頃には、竹を小割りに、ヒゴを作り、目白籠を作ったりと、何にしても手先を使う工作が大好きであった。彫刻刀を手に入れば、ゴム板を用いて、蔵書印、氏名印、落款印等、時の経つのも忘れ、熱中していました。大学受験の進路決定時には、誰もが、異口同音に、歯科が良いと勧めてくれ、私も迷うことなく、この道を進むことを決心しました。大歯大入学後は、軟弱な体を鍛えるために、剣道部に入部。お陰で同期の剣友と共に、現役中、二度の全日本学生剣道大会に出場出来、また、私の人生の師と仰ぐ賀来俊彦師範に、巡り合えたことは、最高の幸せであった。大学で最も身が入り、興味があったのは、補綴実習であった。卒業後は、開業に向けて口腔外科学教室に入局する。

開業後も、繋々、補綴に係る研修会には出席し、ウィップ・ミックスの半調節性咬合器による総義歯製作等も、その一つである。当時、私は、インレー、クラウンの

製作は、圧迫蓋を用いて行っており、鑄造の失敗を見越して、ワックスパターンを常に二個作っておりました。研磨に際しては、5級インレーが最も緊張する工程でした。真空埋没器、遠心鑄造器、焼却炉、半自動加熱炉



を備えると、やっと人並みの技工室になったように、見えました。

松風ポスト・クラウン陶歯を削合し、シェルによる陶歯前装鑄造冠、硬質レジン筆積法の加熱重合による硬質レジン前装鑄造冠、さらに進歩して、ペースト状の光重合硬質レジン前装鑄造冠へと、技工操作も格段に改善され、一応満足が得られるようになりました。

只、黙々と一途に歩み続けて来た、鈍亀の私にも、愈々体力の限界が感じられ、嘗て、三年前に来院され、私が診た患者様の上顎総義歯のリベースを終え、即時重合レジンでポスト・ダムを付与し、再調整、研磨をして終了。「先生これでまた、おいしく物が食べられます。」を最後の言葉に、患者様を送り出す。

平成 24 年 3 月 31 日 (土) 引退

# 会務報告

令和3年

- 7月8日(木) 第4回理事会(府歯第6会議室)
- 8月5日(木) 第5回理事会(Web開催)
- 8月28日(土) 第45回近畿北陸地区学校歯科医連絡協議会(福井県A O S S A) 【書面開催】
- 9月4日(土) 社会見学会 【中止】
- 9月7日(火) 第60回全日本学校歯科保健優良校表彰 優秀賞候補園菅南幼稚園WEB審査
- 9月9日(木) 第6回理事会(Web開催)
- 9月16日(木) 「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」「歯・口の健康啓発標語コンクール」  
審査会(府歯大ホール)
- 10月14日(木) 第7回理事会(リアライブ)
- 10月21日(木)・22日(金) 第85回全国学校歯科保健研究大会(東京都) 【Web開催・動画配信】
- 10月23日(土) 第2回支部長会(府歯大ホール)
- 10月27日(水) 子どもの歯を守る懇談会(梅南中学校)
- 10月28日(木) 子どもの歯を守る懇談会(築港小学校)
- 10月28日(木) 第71回全国学校歯科医協議会(A N Aクラウンプラザホテル岡山) 【Web開催】
- 10月28日(木) 全国学校保健・安全研究大会(岡山シンフォニーホール) 【Web開催】
- 10月29日(金) 全国学校保健・安全研究大会  
(ピュアリティまきび・ホテルメルパルク岡山・アークホテル岡山) 【動画配信】
- 11月5日(金)～17日(水) 「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」  
「歯・口の健康啓発標語コンクール」中央図書館展示
- 11月11日(木) 第8回理事会(府歯第6会議室)
- 11月25日(木) 大阪市よい歯の学校・幼稚園表彰審査会(リアライブ)
- 11月27日(土) 大阪二学歯連絡協議会(ホテルモンテラ・スール大阪)
- 11月28日(日) 第4回マウスガード講習会(サラヤメディカルトレーニングセンター)
- 12月4日(土) 会員研修会(府歯大ホール)
- 12月15日(水) 日学歯 第104回臨時代議員会(T K P市ヶ谷ビル)
- 12月16日(木) 第9回理事会(Web開催)
- 12月18日(土) 「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」「歯・口の健康啓発標語コンクール」  
表彰式(ギャラリーよみうり)
- 12月18日(土)・19日(日) 学校歯科医生涯研修制度専門研修(ホテルメトロポリタンエドモント)

令和4年

- 1月27日(木) 第10回理事会(Web開催)
- 2月10日(木) 第62回大阪市学校歯科保健研究大会(府歯大ホール) 【中止】
- 2月16日(水) 日学歯加盟団体長会(日歯会館・Web)
- 2月17日(木) 第11回理事会(Web開催)

## 令和3年度 子どもの歯を守る懇談会 日程

区	校名	実施日	内容	学校園歯科医	講師
北大淀	中大淀幼稚園	10月21日(木)	むし歯予防/咬合と歯並び/ 食生活と食育/ブラッシング	梅垣 輝生	天上 吉隆
講演会(保護者教室)					
西成	梅南中学校	10月27日(水)	むし歯予防/歯肉炎と歯周病/ 食生活と食育/ブラッシング 「ブラッシング」 コロナ対策のため座学で実施	韓 哲三	長谷川貴一
その他歯と口の健康教室(生徒向け)					
港	築港小学校	10月28日(木)	むし歯予防/ブラッシング/ あいうべ体操	金田 一弘	讃井 茂行
歯の健康教室					

## 学校歯科保健教材器具貸出 申込書

校 園 名 \_\_\_\_\_

学校歯科医名 \_\_\_\_\_

## 1. 貸出器具に○と個数をご記入ください。

貸出有無	器 材 名	商 品 名	無償支給	個 数
	位相差顕微鏡	ペリオスコープ	—	貸出は1台のみ
		バクテリア・セルフチェッカー『見る菌』	—	貸出は1台のみ
	咬合力計	オクルーザルフォースメーター	—	貸出は1台のみ
		ディスポーザブルキャップ	20コ	個
	お口の万歩計	かみかみセンサー	—	Sサイズ 台
			—	Mサイズ 台
	顎 模 型	歯みがきじょーずくん	—	貸出は1台のみ
		歯みがき指導用模型	—	貸出は1台のみ
	歯みがき圧測定器	歯みがき圧指導器	—	貸出は1台のみ
	糖 度 計	ATAGO ペン糖度・濃度計 PEN-J PEN-1ST	—	貸出は2台
	pH 計	ATAGO DIGITAL pH METER	—	貸出は1台のみ
	ガ ム	キシリトール入り咀嚼力判定ガム	20コ	個
	りっぷるくん	口唇閉鎖力測定器	—	貸出は1台のみ
	りっぷるボタン		10コ	個
	健口くん	口腔機能測定器	—	貸出は1台のみ

## 2. 貸出希望日 ※貸出期間は1週間をお願い致します。

貸出希望 令和 年 月 日～令和 年 月 日 (返却)

## 3. 貸出・返却方法

- ・教材器具を貸出希望される学校は、事前に電話にて事務局に貸出状況をお問合せください。そして、この用紙にご記入の上、市学歯へFAXにてお申し込みください。

FAX: 6774-0488

- ・貸出は、市学歯事務局まで取りに来ていただくか、または、市学歯から貸出日までに宅配致します。
- ・返却は、事務局へお持ちいただくか、宅配でも結構です。

## 4. 注意事項

- ・位相差顕微鏡は備品の中の『取扱説明書』や操作方法を録画したCDファイルを参考にしてください。
  - ・咬合力計のディスポーザブルキャップは、測定する児童生徒の人数分の個数を記入してください。
- 咬合力計で使用する「ディスポーザブルキャップ 20コ」、「咀嚼力判定ガム 20コ」、口唇力測定器で使用する「りっぷるボタン 10コ」無償支給いたします。  
 ディスポーザブルキャップ: 1コ×46円 咀嚼力判定ガム: 1コ×112円 りっぷるボタン: 1コ×80円  
 それ以上の個数が必要な場合は有償支給となりますので、ご了承ください。
- ・かみかみセンサーは小学校低学年用のSサイズ、小学校高学年以上のMサイズとも5台まで貸出できます。
  - ・それぞれの器材の付属品や備品は無くさないように返却をお願い致します。

## 5. 担当者連絡先

〒543-0033 大阪市天王寺区堂ヶ芝1-3-27 大阪府歯科医師会館内

大阪市学校歯科医会 事務局 伊牟田 裕加 ☎6772-8362

## お知らせ

- 1 令和3年度 臨時総会  
日時 令和4年3月31日(木) 午後2時～  
場所 大阪府歯科医師会館 第6会議室
- 2 令和4年度 新任学校歯科医研修会・基礎研修会の合同研修会  
日時 令和4年4月14日(木) 午後2時～  
場所 大阪府歯科医師会館 第6会議室

## 市学歯ホームページ更新情報

### 令和3年

- 12月26日 図画・ポスター、標語コンクール表彰式の写真を掲載しました。
- 12月26日 会員研修会を更新しました。
- 12月6日 マウスガード講習会を掲載しました。
- 12月4日 大阪二学歯連絡協議会を更新しました。
- 11月5日 図画・ポスター・標語入賞作品を更新しました(中央図書館展示)
- 10月2日 図画・ポスター・標語入賞作品を更新しました(選考会)
- 9月5日 会報180号を掲載しました。

## 編集後記

国内で新型コロナウイルス感染症が発生して約2年が経ちました。今、新たな変異株SARS-CoV-2の変異株B.1.1.529系統(オミクロン株)が全国に広がって1月27日より蔓延防止等重点措置が発令されました。広報部の会報誌制作(原稿校正)は、部員が集まって出来ないため、初めてWebでの作業を余儀なくされました。市学歯では、いち早く理事会や他

の部会をWebで行って行っていたので、この広報部会もトラブルなくできるようになっていますが、対面での人のぬくもりや言葉の感じ方が少し違っているように思いました。ちょうど校正に取り掛かっている時期に、北京オリンピック開催真っ只中で連日、日本選手の活躍が報じられています。いろんな意味でがんばれニッポン!  
(K.H)

第181号 令和4年3月18日 発行  
発行所

〒543-0033

大阪市天王寺区堂ヶ芝町1-3-27

大阪府歯科医師会館内

大阪市学校歯科医会

広報部

電話 大阪(6772)8362

人生を味わうために、  
お口の元気をいつまでも。



今日という日を大切に、一日一日をていねいに生きる。  
そんな人々のためにライオンに何ができるか。  
めぐり来る日々の、人の清潔や、健康や、快適や、  
環境を守りつづけるために、何を提供できるか。  
人のからだやくらしが求める、  
希望に満ちた未来を、日本ばかりでなく  
世界にも届けたいと願う、私たちライオンです。

今日を愛する。  
**LION**